

加算・レセ摘要点検プログラム(あおき薬局 2012/06/01版)

操作説明

2012/05/31作成

【プログラムについて】

このプログラムは、レセプト電算データ(RECEIPTY.CYO)を利用して、加算とレセ摘要の内容を点検しやすくすることにより、適正な保険請求を行うことをお手伝いするプログラムです。

【ご注意とお願い】

プログラムをご利用になる前に以下の内容をお読みください。

○プログラムに使用するレセプト電算データは、提出(電送)するファイルを直接使用するのではなく、必ずコピーしたファイルを使用してください。

○レセプト電算データを読み込むとプログラムのデータとして患者データを保存します。個人情報が含まれますので適正な管理・保管をお願いいたします。処理終了後、操作で「読み込みデータ消去」のボタンを押すとプログラムで管理している患者データを全て削除することができます。

○このプログラムでは、レセプト内容を修正することはできません。修正する場合は、レセコン等の元データを修正してください。

○プログラムでの抽出やチェック結果は、レセプトの内容を保証するものではありません。レセプトデータにより正確な抽出やチェックができない場合があるかもしれません。あくまでも補助ツールとしてお使いください。

○万一、プログラムの使用により損害等が発生した場合でも、当方は責任を負いません。プログラム使用者の責任でお使いください。

○もし、プログラムの不具合等がある場合は、ご連絡いただければ善処いたします。

目次

1. プログラムのセットアップについて	2 ページ
2. プログラムの削除	2 ページ
3. プログラムの起動	2 ページ
4. プログラムの終了	2 ページ
5. 初期設定(調剤行為マスターの読み込み、加算等の指定)	3 ページ
6. レセプト電算データ(RECEIPTY.CYO)の読み込み	4 ページ
7. データチェック(加算等とレセ摘要)	5 ページ
8. メモ画面の使用方法	7 ページ
9. その他	8 ページ

1. プログラムのセットアップについて

1) 解凍

(1) プログラムは、圧縮されています。「KasanCheck.zip」を右クリックしてから「すべて展開」をクリックします。

(2) 解凍先は、わかりやすいようにデスクトップが良いと思います。

(3) 解凍してできたフォルダの中に以下のファイルが含まれています。

- KasanCheck.exe ・・・プログラム本体
- KasanCheck_Help.pdf ・・・プログラムの説明ファイル(この説明)

これで、プログラムを使用することができます。

- インストールは必要ありません。
- プログラムのフォルダは、デスクトップである必要はありません。好きな場所(ドキュメントや他のフォルダの中など)に入れても構いません。移動する場合は必ずフォルダごと移動してください。プログラム本体だけを移動しないでください。

2. プログラムの削除

このプログラムはWindowsでインストールをしていません。プログラムの入っているフォルダを削除すれば、コンピュータからプログラムやデータを削除することができます。

3. プログラムの起動

プログラムフォルダにある「KasanCheck.exe」をダブルクリックしてプログラムを起動します。

4. プログラムの終了

プログラム画面にある「プログラム終了」ボタンを押します。

5. 初期設定(調剤行為マスターの読み込み、加算等の指定)

このプログラムを使用するためには、(1)m.csvの読み込みと(2)確認する加算の指定の2つの初期設定をする必要があります。

図1. 設定ページ

調剤行為コード	調剤行為名	チェック	キーワード
430004770	一包化加算	する	一包化
430003170	嚙下困難者用製剤加算		
420000410	外用薬調剤料		
440001810	外来薬薬支援助料		
430000470	寛せい剤原料加算		
450000170	基準調剤加算1		
450000270	基準調剤加算2		
430000770	休日加算(調剤料)		
450000570	休日加算(調剤基本料)		
430003570	計量混合調剤加算(液剤)		
430002870	計量混合調剤加算(散剤又は顆粒剤)		

(1)m.csvの読み込み

- ①「診療報酬情報提供サービス」にアクセスして「ダウンロード」ページを開きます。
・「調剤行為マスター」をダウンロードして、解凍するとm.csvというファイルができます。
- ②「m.csvの読み込み」ボタンを押して「m.csv」ファイルを読み込みます。

(2)確認する加算の指定

- ③調剤行為名(加算等)リスト(m.csvを読み込んでいないと表示されません)常時チェックする加算項目を指定します。
・指定する項目をダブルクリックするとチェック項目に「する」と表示されます。再度ダブルクリックすると「する」が消えます。
- ④加算等でレセ摘要にキーワードを含めて記載することでチェックができます。
キーワードをセットすると同時にチェックする項目に指定されます。
(例) 一包化加算 「一包化」 レセ摘要「・・・により一包化」
夜間休日加算 「受付」 レセ摘要「・・・〇〇時〇〇分受付」 など
- ・設定したキーワードを削除する場合は、「クリア」ボタンを押します。この時、チェックする項目の「する」は消えません。「する」を取り消す場合は、項目をダブルクリックしてください。
- ⑤確認する加算、キーワード等を全て保存します。設定後は必ず保存してください。
- ⑥確認する加算、キーワードを全てクリアします。初めから設定を行う時に使用します。

6. レセプト電算データ(RECEIPTY.CYO)の読み込み

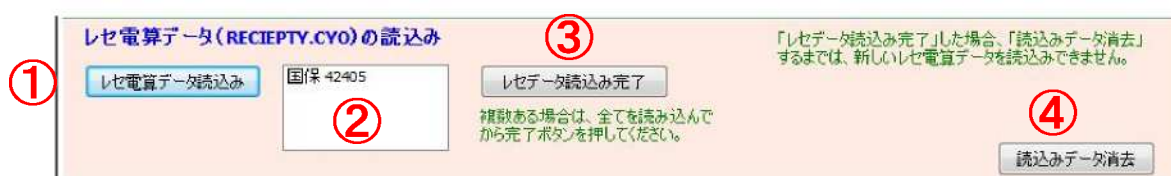
チェックするレセプト電算データを読み込みます。

【注意事項】

○プログラムに使用するレセプト電算データは、提出(電送)するファイルを直接使用するのではなく、必ずコピーしたファイルを使用してください。

(レセプト電算データは読み込み操作を行うだけですが、読み込み中にプログラムが停止した、エラーが出たなど不測の状況で元ファイルが壊れたりすることを考え、できるだけ安全な方法とするためです。)

図2. レセプト電算データの読み込み



(1)レセプト電算データの読み込み

(②のリストに何も表示されていないことを確認します。)

①「レセ電算読み込み」ボタンを押し、レセプト電算データ(RECEIPTY.CYO)を指定します。

- ・読み込む順番は、社保・国保どちらでも構いません。
 - ・読み込むと②に社保・国保と請求月が表示されます(調剤月ではありません)。
 - ・請求月のデータ全て読み込みます。
 - ・異なる薬局や異なる請求月のデータは読み込めません。
- ③全てのレセプト電算データを読み終わったら「レセデータ読み込み完了」を押します。

(2)読み込み完了

全てのレセプト電算データの読み込みを完了し、チェック用のデータを作成します。

- ・読み込みに使用したレセプト電算データ(コピー)は、もう必要ありません。

(3)読み込みデータの消去

以下の場合、④「読み込みデータ消去」を押して読み込んだデータを全て消去します。

- ・同じデータを2回読み込んでしまった(読み込みデータを間違えた)。
- ・別の請求月のチェックをする。
- ・チェックが終わり、患者情報を削除したい。

7. データチェック(加算等とレセ摘要)

(1)プログラムのTopページにある①「加算とレセ摘要」ボタンを押すとチェックするページ(図4)が表示されます。

図3. 加算とレセ摘要チェックページの表示



図4. 加算とレセ摘要チェックページ

患者名	生年月日
山田 〇郎	S36.05.12
鈴木 〇子	H07.12.23

4240419 山田 〇郎 (S36.05.12)
4240422 〇〇病院

【調剤基本料加算】
4240419 夜間・休日等加算 (450000870)
4240422 一包化加算 (430004770)
4240422 夜間・休日等加算 (450000870)

20時20分受付(04月19日)

- (2) ②には、「設定」でチェックする加算に設定した項目が表示されます。
- ・各項目の先頭にあるチェックボックスに「レ」(チェック)が入っているものが処理されます。このページを表示したときは、項目のチェックはOFFとなっています。
 - ・必要に応じてチェックを操作してください。
 - ・⑬を操作することで表示されている項目全てのチェックをON・OFFできます。
 - ・⑭で「全項目」を指定した場合は、「設定」にかかわらず加算等すべての項目が表示されますのでその場でチェックする項目を指定してください。
 - ・項目の後ろに【 】で表示されているのは、「設定」で登録した項目キーワードです。
- (3) 日付の表示
- ・生年月日以外の日付は、レセプト電算データの日付書式をそのまま使用しています。先頭の数字が、1:明治 2:大正 3:昭和 4:平成を示します。

(3) 対象患者(レセプト毎)の抽出

対象患者の抽出方法は、3種類あります。

- ③「対象患者抽出」
- ④「レセ摘要欄未記入チェック」
- ⑤「レセ摘要欄の文字検索」

③「対象患者抽出」

・②で指定した加算等が含まれる患者(レセプト)を全て抽出して⑥に表示します。

④「レセ摘要欄未記入チェック」

・②で指定した加算があり、レセ摘要に

＞キーワードが設定されているのにキーワードがない

＞キーワードは設定していないが、レセ摘要が空欄

の患者(レセプト)を抽出します。

・キーワードを設定した項目について、レセ摘要のチェックに適しています。

【注意】キーワードは設定されていないが、何等かの文字がレセ摘要に記載されている場合は抽出されません。

⑤「レセ摘要欄の文字検索」

・レセ摘要に含まれる任意の文字を検索して患者(レセプト)を抽出します。

・②で指定した条件は無視され、全てのレセプトから検索します。

・この検索を使用する頻度は多くないと思いますが、レセ摘要に特別な記録をした記憶から患者を抽出する際に利用してください。

(4) 確認患者(レセプト)の指定

・⑥に表示された患者をクリックします。

⑦に「調剤日」が表示されます。

⑧に「患者名」「生年月日」「医療機関名」が表示されます。

⑨にレセプトにある加算等が表示されます。

＞②で指定した抽出項目が表示されます。

＞レセプトにある全ての加算等を表示する場合は、⑧にある「全加算表示」にチェックを入れてください。

＞最初は、調剤日全ての加算等が表示されます。調剤日毎の加算等を表示する場合は、表示したい「調剤日」をクリックしてください。

＞全ての調剤日を表示させる場合は、再度患者名をクリックしてください。

⑩にレセ摘要の内容が表示されます。

・加算等に対して、適切なレセ摘要が入っているか確認してください。

・レセ摘要等の内容をこのプログラムで編集はできません。レセコン等で元のデータを修正してください。

(5) メモへの記録

・⑫「メモに追加」ボタンを押すと現在表示している患者の内容をメモに追加します。

・⑮「患者一覧をメモに追加」ボタンを押すと現在表示している患者すべてをメモに追加します。

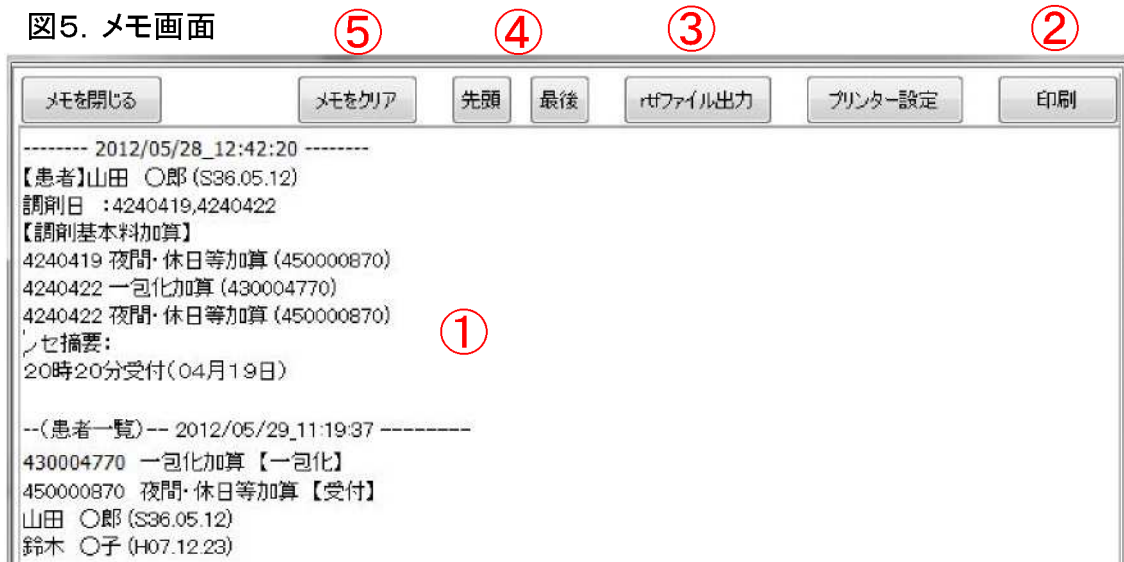
8. メモ画面の使用方法

プログラム画面上部にある「メモ表示」ボタンを押すとメモ画面が表示されます。

- ・メモの内容は自由に編集できます。
- ・チェック画面等で「メモに追加」ボタンを押した内容が保存されています。

【注意】メモは参照や編集が終わったら必ずその都度閉じてください。メモを開いたまま、「メモに追加」等の操作をしないでください。反映されない場合があります。

図5. メモ画面



(1) メモの編集

- ・①メモは編集できますので、不要部分の削除やコメントの書き込みができます。

(2) 印刷

- ・②「印刷」ボタンを押すとメモの内容をプリンターに印刷します。プリンターの設定を変更する場合は「プリンター設定」ボタンを押して行ってください。

(3) RTFファイル出力

- ・③「rtfファイル出力」ボタンを押すとメモの内容をファイルに書き出します。
- ・ファイルを保存する場所を指定してください。
- ・ファイル名は、「レセチェックメモ_(日付と時刻が入ります).rtf」がセットされますが、変更も可能です。ただし、拡張子(.rtf)は変更しないでください。
- ・RTFファイルは、Microsoft Word等で読み込むことができます。
- ・出力したファイルには、患者名等が含まれます。適切な管理をしてください。

(4) メモ画面の操作

- ・④「先頭」「最後」ボタンでメモ内容の先頭や最後の行へ移動します。
- ・⑤「メモをクリア」ボタンを押すとメモの内容が消去されます。保存されているファイルも削除されます。

(5) メモ画面の終了

- ・「メモを閉じる」ボタンを押すとメモの内容を保存してメモ画面を閉じます。
- ・「メモを閉じる」ボタンを押さずにメモ画面を閉じた場合は、変更等が保存されない場合があります。

9. その他

(1)レセプトデータの読み込みによりプログラム内に保存されるレセプトデータ

- ・薬局名、請求月、読み込んだレセプト件数、読み込みを行った日時
- ・患者名、生年月日、医療機関名
- ・調剤日、レセプトに含まれる調剤行為マスターのコード
- ・レセ摘要の内容

※これらのデータは、「読み込みデータ消去」ボタンを押すか、プログラムをフォルダ毎削除するまで保持されます。

(2)プログラムについて

- ・プログラミング言語:Delphi2010
- ・コンピュータのレジストリー操作はしていません。
- ・インストール不要のため、USBメモリ等の中にプログラムフォルダごと入れることにより、どのコンピュータでも走らせることができます。管理・保管等には十分注意してください。

(3)プログラムからのインターネットアクセス

- ・このプログラムで以下の場合にインターネットにアクセスします。
 - >「設定」画面の「診療報酬情報提供サービスダウンロードサイト」ボタンを押したとき
 - >「あおき薬局ホームページ」ボタンを押したとき
 - >「depostyle」ロゴをクリックしたとき
- ・いずれもアクセスするか確認メッセージがでます。「いいえ」を押したときはアクセスしません。
- ・プログラムが利用者の操作以外でインターネットにアクセスすることはありません。
- ・アクセスする場合、コンピュータがインターネットに接続されていてインターネットエクスプローラー等のブラウザがあることが必要です。
- ・プログラムの起動、データの読み込み、チェック等ではインターネットの接続は必要ありません。また接続する必要はありません。

(4)コンピュータのウイルス対策

- ・このプログラムでは、大切な患者情報を扱います。ウイルス対策ソフト等で保護されたコンピュータで稼働させてください。

(5)プログラムの不具合があったとき

- ・お手数ですが、「depostyle 原」hara1009@depostyle.jp までメールでご連絡ください。

(6)プログラムで説明ファイル(この説明)を表示する場合

- ・「説明」ボタンを押すとこの説明ファイル(PDF)が表示されます。
- ・プログラムを使用するコンピュータにPDFファイルを表示できるプログラムはインストールされていて、拡張子(.pdf)と関連付けされていることが必要です。